

「野神小学校の早馬棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	志布志市立野神小学校
2. 学年・人数	4年生から6年生 計60人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年10月22日（火） 野神小学校体育館 (2) 発表の日時・場所 令和6年10月27日（日） 野神小学校運動会
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名 称 早馬棒踊り（はやまぼうおどり） (2) 由 来 藩政時代から伝承されてきたと言われている。農耕などで使っていた牛馬をまつるためのもので、集落内の小高い丘にある「早馬どん」の石碑の前で踊りを奉納する。 (3) 構成等 3尺棒をもった3人と6尺棒をもった3人が2直線を成し、計6人が1組となる。曲は8番まであり、同じ動きを繰り返す。頭に鉢巻、上には浴衣と3色襷、下には袴下と脚半を身にまとい、大きな掛け声を出しながら踊る。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	学校と地域が連携・協力しながら、棒踊り継承のために工夫して取り組んでいる。毎年、棒踊り保存会の方々に来校していただき、児童への指導をお願いしている。令和6年度は、まず、職員が棒踊りの由来について話を聞く場をもち、その後、職員研修で集落の見学を行った。棒踊りの由来を知り、伝承に関わることの意識を高めることができている。運動会の前に、保存会の方々に棒踊りの修正等をお願いしている。また、体育の表現運動として教育課程に組み込み、練習に取り組んでいる。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 【運動会での棒踊り発表】
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【児童】 ・ 6年生に教えてもらいながら、練習することができました。 ・ 4年生に教えるのはなかなか難しいけれど、何度も練習して覚えてくれました。 【保護者】 ・ 法被を着て棒踊りを披露する姿は、たいへん頼もしく感じる。